

## 航空特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法規 12問 } 24問 1時間  
無線工学 12問 }

法

規

〔1〕 無線局の予備免許が与えられるときに指定される事項は、次のどれか。

1. 空中線電力
2. 無線局の名称
3. 免許の有効期間
4. 無線設備の設置場所

〔4〕 無線局が臨時に電波の発射の停止を命じられることがある場合は、次のどれか。

1. 免許状に記載された空中線電力の範囲を超えて運用したとき。
2. 総務大臣が当該無線局の発射する電波の質が総務省令で定めるものに適合していないと認めるとき。
3. 発射する電波が他の無線局の通信に混信を与えたとき。
4. 略語を使用して通信を行ったとき。

〔2〕 航空機用救命無線機の一般的条件として無線設備規則に規定されていないものを、次のうちから選べ。

1. 航空機に固定され、容易に取り外せないものを除き、小型かつ軽量であって、一人で容易に持ち運びができること。
2. 電源は、人体に危害を及ぼさないように適当に遮蔽してあること。
3. 海面に浮き、横転した場合に復元すること、救命浮機等に係留することができること（救助のため海面で使用するものに限る。）。  
4. 筐<sup>きょう</sup>体に黄色又は橙色の彩色が施されていること。

〔5〕 免許人（包括免許人を除く。）が正当な理由がないのに無線局の運用を引き続き何箇月以上休止したときにその免許を取り消されることがあるか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 1箇月
2. 2箇月
3. 3箇月
4. 6箇月

〔3〕 航空特殊無線技士の資格を有する者が、25,010キロヘルツ以上の周波数の電波を使用する航空局（航空交通管制の用に供するものを除く。）の無線電話で国内通信のための通信操作を行うことができるのは、空中線電力何ワットまでか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 50ワット
2. 30ワット
3. 20ワット
4. 10ワット

〔6〕 免許人は、無線局の検査の結果について総合通信局長（沖縄総合通信事務所長を含む。以下同じ。）から指示を受け相当な措置をしたときは、どうしなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 直ちにその旨を届け出る。
2. 措置の内容を無線業務日誌に記載するとともに総合通信局長に報告する。
3. 措置の内容を無線検査簿又は無線局検査結果通知書の記載欄に記載するとともに総合通信局長に報告する。
4. 適宜の用紙に記載し無線検査簿に添付しておく。

# 航空特殊無線技士試験問題

## 法

〔7〕 無線局を運用する場合において、電波法の規定により、識別信号（呼出符号、呼出名称等をいう。）は、遭難通信を行う場合を除き、次のどの書類に記載されたところによらなければならないか。

1. 免許証
2. 無線局事項書
3. 免許状
4. 無線局免許申請書

〔8〕 航空移動業務の無線局が無線電話通信において、無線機器の試験又は調整のため電波を発射するときの「本日は晴天なり」の連続及び自局の呼出名称の送信は、何秒間を超えてはならないか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 10秒間
2. 30秒間
3. 50秒間
4. 60秒間

〔9〕 無線電話通信において、「終わり」の略語を使用する場合は、次のどれか。

1. 通信が終了したとき。
2. 通報の送信が終わるとき。
3. 周波数の変更を完了したとき。
4. 通報がないことを通知しようとするとき。

## 規

〔10〕 義務航空機局の聴守電波の型式は、次のどれか。

1. A 3 E又はJ 3 E
2. A 2 D
3. A 1 B
4. A 1 A

〔11〕 ノータムに関する通信の優先順位は、どのように定められているか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 航空機の安全運航に関する通信に次いでその順位を適宜に選ぶことができる。
2. 航空機の正常運航に関する通信に次いでその順位を適宜に選ぶことができる。
3. 緊急の度に応じ、遭難通信に次いでその順位を適宜に選ぶことができる。
4. 緊急の度に応じ、緊急通信に次いでその順位を適宜に選ぶことができる。

〔12〕 航空機の遭難に係る遭難通報に対し応答した航空機局がとるべき措置は、次のどれか。

1. 救助上適当と認められる無線局に対し、当該遭難通報の送信を要求する。
2. 付近を航行中の航空機に遭難の状況を通知しなければならない。
3. 直ちに遭難に係る航空機を運行する者に遭難の状況を通知する。
4. 直ちに当該遭難通報を航空交通管制の機関に通報する。